

地域で見守り 支えたい



認知症徘徊高齢者
搜索模擬訓練実施マニュアル



はじめに

◆ もの忘れ？ もしかして認知症かも？

“もの忘れ”には、老化によるものと認知症によるものがあります。老化によるものは出来事などの一部分を忘れるもので、本人にも自覚があります。一方、認知症の場合は出来事そのものを忘れてしまい、本人にもその自覚がありません。

◆ 認知症のある方は、困った人？

認知症のある方は困った行動を起こすこともあります。それは認知症のある方自身が自分の行動に戸惑い、他人にはわからないストレスを感じ、不安や不自由を乗り越えようと右往左往した結果であると言われていています。そのため、周りの方との関係を損ない、生活する上で支障がでてくることもあります。

◆ 「徘徊行動」は、危険を伴います

認知症のある方は、しばしば道に迷ったり、何かを求めて外出されることがあります。「徘徊行動」といわれていますが「徘徊行動」は危険を伴います。行方不明から時間が経てば経つほど発見が難しくなり本人も強い不安や交通事故などの危険にさらされます。そのため家族の心労も大きなものがありますが、家族だけで見守ることは困難であり、本市でも、年に何人かの方の捜索依頼を受けています。

◆ 地域みんなで認知症のある方を支えよう

認知症のある方が町を歩き回っている様子を地域の方が見守っていたり、行方不明になった場合にも行政や警察だけではなく、地域住民や事業所のみなさんができる範囲でご協力いただければ、早期発見・保護につなげることができます。

◆ 認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練をやってみよう

認知症についての理解を深め、地域のみなさんの連携を確認するためには、認知症徘徊高齢者の搜索模擬訓練の実施が非常に有効です。市内の全ての地区で認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練を実施していただきたいと考えています。そのため、その実施方法の概略をとりまとめたマニュアルを作成しました。ぜひ、本マニュアルを活用し、みなさんの地域で認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練を実施してください。



1 認知症って？

- 認知症とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- こんな症状があるよ・・・・・・・・・・ 6
- 徘徊行動には理由があるよ・・・・・・・・ 7
- 気持ちに共感しよう・・・・・・・・・・ 8
- 家族の気持ちを理解しよう・・・・・・・・ 8

2 徘徊高齢者を早く見つけるにはどうしたらいいの？

こんな取り組みがはじまっているよ①

- 認知症やさしい手ネットにつしん・・・・・・・・ 9
- ネットワークのしくみを知ろう・・・・・・・・ 10

こんな取り組みがはじまっているよ②

- 認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練・・・・・・・・ 11
- 訓練の一例を見てみよう・・・・・・・・・・ 12
- 参加者の声を聞いてみよう・・・・・・・・・・ 13

3 訓練をやると決めたらどうするの？

- 1 メンバーを集めよう・・・・・・・・・・ 15
- 2 相談しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 おおまかなスケジュールを立てよう・・・・ 17
- 4 役割を決めよう・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 5 地域に協力を呼びかけよう・・・・・・・・・・ 21
- 6 訓練当日の徘徊ルートを決めよう・・・・ 23
- 7 認知症サポーター養成講座を受講しよう・・ 24
- 8 地域に訓練開催のお知らせをしよう・・・・ 25
- 9 訓練当日のスケジュールを決めよう・・・・ 25
- 10 当日配布資料を作成しよう・・・・・・・・・・ 27

4 困ったときは？

- 気軽に相談しよう 28

5 声かけがうまくできるか心配

- 対応の心得を知ろう 29

6 訓練が終わったらどうしたらいいの？

- 意見交換会をしよう 31

7 その他の取り組みは？

- 認知症地域資源マップ 33
- ものわすれ相談窓口 35
- 認知症地域支援シンボルマーク 36
- 高齢者地域見守りに関する協定 36



★ キャラクター紹介 ★

みっけ猫



このマニュアルの案内役の三毛猫。
認知症の症状や徘徊高齢者捜索模擬訓練など
について詳しく説明します。



ささえようこ

お母さんの物忘れが
心配になり、認知症に
ついて詳しく知りたい
と思っている主婦。



みまもりたいぞう

地域の自治会長さん。
“ 地域のために何か役に
立てることはないか ” と
常に考えているナイスガイ。

1

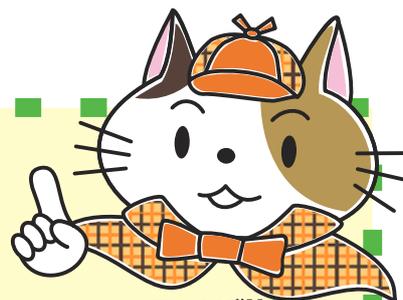
認知症って？



ささえようこ

最近うちの母
物忘れがひどくて…
もしかして認知症かしら？
でも、認知症について
あまり知らないわ
どんな症状なのかしら…

認知症とは



みっけ猫

認知症は、脳の細胞がさまざまな原因で死んでしまったり、働きが悪くなったりするために記憶障害や行動障害が起きて、生活する上で支障が出ている状態を言うんだニャン。

厚生労働省の調査によると、75歳以上で5人に1人、85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれていて、高齢になるにつれ発症率が高くなっているんニヤ。患者数は年々増え続け、今後20年で倍増すると予想されているんだニヤ。

1

認知症って？



こんな症状があるよ

認知症の主な症状は次のようなのだニャン。

● 記憶障害 覚えられない、すぐ忘れてしまう

認知症になると、さっき聞いたことも、見たことも忘れてしまいます。忘れていても気づかず、何度も同じことを言ったり聞いたりします。

● 見当識障害 日時や場所、人がわからなくなる

今がいつなのか、自分がどこにいるか、目の前にいる人が誰なのかなど、自分がどういう状況にいるのかを理解する脳の働きが低下してしまいます。

● 理解・判断力の障害 考えることが難しい

考えるスピードが遅くなったり、2つ以上のことが理解できなかったり、新しい機械が使えないなど、ものを考えることが難しくなります。

● 実行機能障害 計画を立てられない

物事を順序よく進めたり、予定外の出来事に対処するなどの脳の働きが低下して、今までできていたことがうまくこなせなくなってしまいます。



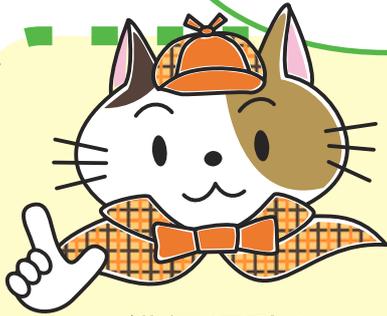
徘徊につながることも

上記のような認知症の症状が進むと、道に迷ってしまったり、ふらふらと歩き回るといった徘徊行動が出る場合があります。しかし、認知症のある方の徘徊行動には、それなりの理由があるのです。

徘徊って、わけもなく歩き回っているんじゃないの？



認知症の症状に
 ついてはよくわかったわ
 徘徊行動につながる
 こともあるのね
 でも徘徊って、わけもなく
 歩き回ってるんじゃないかと
 理由があるの？



徘徊行動には理由があるよ

徘徊行動をしている方は、何の目的もなくただ歩き回っているように見えるけど、実は心理的や生理的、身体的に何らかの理由があり、本人にとっては目的のある行動であることがほとんどなんだニヤ。



例えば・・・

- デイサービスなどの新しい環境に不安になり、家に帰ろうとする。
- トイレに行きたいが、場所がわからず探している。
- お腹が痛いけど、それを伝えられずウロウロしてしまう。
- 現在と過去が混在し、昔住んでいた家に行こうとする。

徘徊行動には上記のような様々な要因が考えられます。認知症の症状により、その場の状況が分からなくなったり、判断力が低下してしまうため、理由をうまく言葉にできず、周りの人にはわけもなく徘徊しているように見えてしまいます。

認知症のある方は、何もわからないわけではありません。誰よりも苦しく、悲しいのは本人なのです。

気持ちに共感しよう



徘徊行動の理由を想像し、訴えや行動を頭ごなしに否定するのではなく、本人の気持ちを尊重して共感することが大切なんだニャン。日頃の対応が徘徊行動を未然に防ぐことにもつながるんだニャン。

例えば・・・

- 不安や緊張、興奮など、心理的な要因が考えられる場合は、静かな場所でゆっくり話を聞くなど、落ち着ける環境を作る。
- トイレや空腹など生理的な要因が考えられる場合は、トイレに案内したり、軽食を勧めるなど、さりげなく自然な対応で生理的要求の援助をする。
- 便秘や体の痛み、不快など身体的な要因が考えられる場合は、水分補給などでの排便コントロールや、薬などによる痛みの緩和など、可能な範囲で要因を取り除く。

家族の気持ちを理解しよう

家族の誰かが認知症になったとわかった時、多くの方はショックを受け混乱するんだニャン。そんなご家族の気持ちを理解し、応援してほしいんだニャン。

<ご家族の心理的ステップ>

① とまどい・否定 → ② 混乱・怒り・拒絶 → ③ 割り切り → ④ 受容

認知症のある方のご家族は、「あんなにしっかりしていた人がまさか」「なんでこんなことするの、もうイヤ!」「介護サービスを利用すればなんとかなるかも・・・」など上記のような心理状態を行きつ戻りつしながら、複雑な思いで介護をしています。

ご家族の負担を軽減し、認知症のある方とご家族が安心して暮らしていくためには、地域全体でサポートしていくことが、必要ではないでしょうか。

家族だけでは
負担が大きいな



みまもりたいぞう



認知症のお年寄りが
いなくなった場合
家族だけで探すのは
負担が大きいな
少しでも早く見つけるために
何か地域でできる
ことはないかな

こんな取り組みがはじまってるよ①

認知症やさしい手ネットにつしん

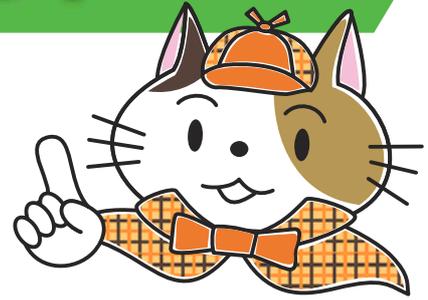
認知症のある方が行方不明になった場合、いなくなつてすぐに気が付けば、近所で見つけられるかもしれニヤいけど、時間が経てば経つほど遠くに行ってしまう可能性が高まり、交通機関などを使えば、県外に行ってしまうこともあるんだニャン。そうなるとご家族だけで探すことは難しいニャン。

そこで日進市では、少しでも早く行方不明の認知症のある方を見つけられるよう、『認知症やさしい手ネットにつしん』という情報配信システムで、警察や関係機関、市民のみなさんと連携しながら、地域全体でサポートするネットワークづくりをしているんだニャン。

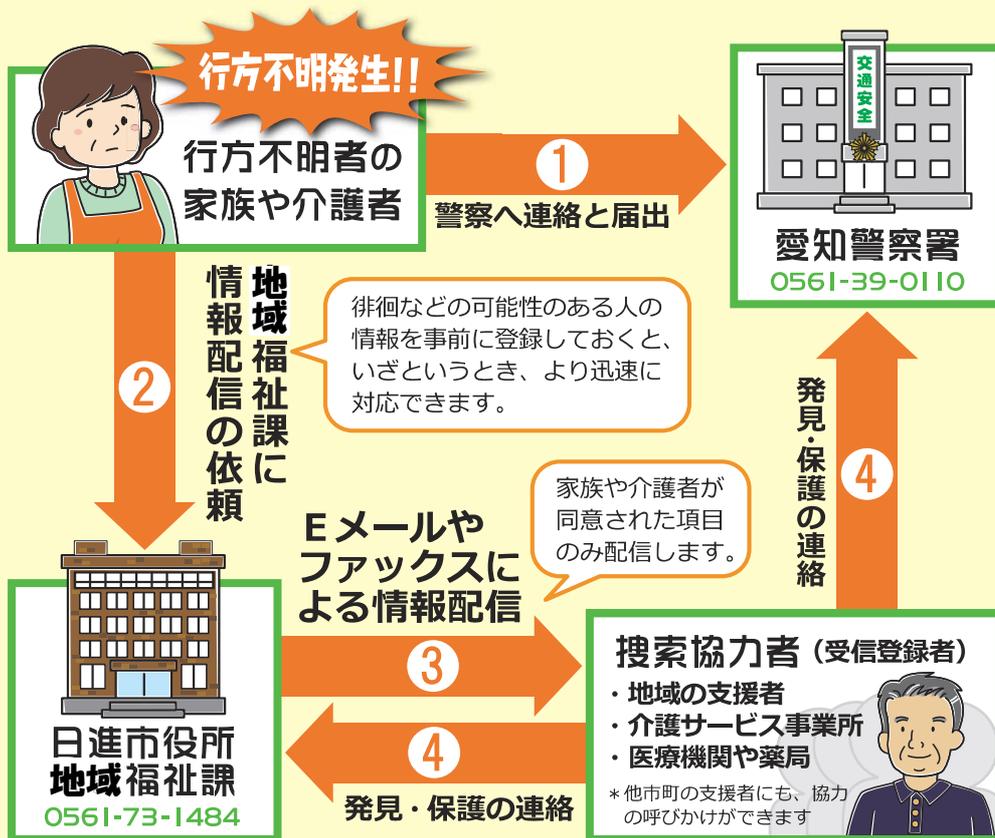


るにはどうしたらいいの？

ネットワークのしくみを知ろう



認知症のある方が行方不明になったときに、ご家族などの申し出から、行方不明者の特徴などを、Eメールやファックスを使ってあらかじめ登録された地域支援者にお知らせし、広く捜索のご協力を呼びかけるんだニャン。



行方不明者の捜索に協力するため、「認知症やさしい手ネットにつしん」に登録し情報を受信するには、**認知症サポーター養成講座** ← **24ページ参照**を受講してください。受講した方であればどなたでも登録できます。



こんな取り組みがはじまってるよ②

認知症徘徊高齢者 搜索模擬訓練

行方不明になった認知症のある方をできるだけ早く見つけるための情報配信システム『認知症やさしい手ネットにつしん』を紹介したのだけれど、[9ページ参照](#)実際にEメールやファックスが送られてきて、行方不明の方を探しに出たとき、ちゃんと対応できるか心配なんじゃないかニヤン。

そこで日進市では、認知症のある方の徘徊行動を想定し『認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練』を行うことをお勧めしているんだニヤン。訓練は『認知症やさしい手ネットにつしん』に基づいて実際に情報配信が行われるので、ネットワークについてより理解できるんだニヤ。

さらに、本当に徘徊している人を見かけたときに戸惑ってしまわないよう、搜索や声かけを実際に疑似体験できるんだニヤン。

認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練の必要性と目的

認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域のみなさんで認知症のある方やそのご家族を温かく見守り、支えていくことが必要です。

認知症のある方やそのご家族が、安心して暮らせる地域をつくるために、「認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練」を開催し、訓練を通して地域のみなさんが認知症を正しく理解し、地域でのつながりをもってもらうことを目的としています。

なるほど
これはとても
いい取り組みだ



2

徘徊高齢者を早く見つけるにはどうしたらいいの？

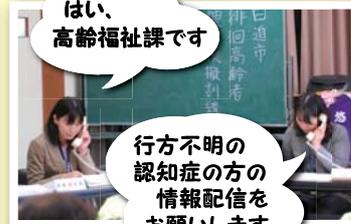
訓練の一例を見てみよう



ある日の昼過ぎ、認知症のAさんが いなくなったという設定だニヤン

主催者のあいさつの後、「認知症やさしい手ネットにつしん」について説明を受けます。

ご家族役、警察役、
ケアマネジャー役
などに扮し、寸劇
形式で説明を行う
場合もあります。



いざ、訓練開始だニヤン！



行方不明のAさん役の人が、徘徊ルートを歩いています。



防犯パトロールのための青色回転
灯装備車両(青パト)がある地域は、
青パトを出動させる訓練を行うこ
とができます。

訓練に参加している方は、Aさんを見つけて声をかけます。



Aさんを見つけて、家族役のもとに
送り届けて無事訓練終了です。



訓練終了後には意見交換
会を開催します。



実際に参加
した人の声を
聞きたいわ



*ご紹介したのは、訓練の一例です。設定や進行などは自由に決めていただけます。



とてもいい取り組みが
はじまっているのね
実際に訓練に参加した人の
声を聞いてみたいわ

良かったこと・学んだこと

★ 搜索について

- ・ 行方不明になった方のご家族の気持ちがわかりました。
- ・ 実際に訓練に参加してみて、どのような流れで連絡し、搜索すればいいのか理解できました。
- ・ サポーター養成講座を受けていたので、スムーズに声をかけることができました。
- ・ 徘徊者の立場に立つことが大切だと感じました。
- ・ 第一声のかけ方の難しさを感じました。

今後の課題など

★ 搜索について

- ・ Eメールやファックスの受信登録はもちろん、徘徊する可能性がある認知症の方を事前に登録してもらえるように、「認知症やさしい手ネットにつしん」について、もっと周知するべきだと思いました。
- ・ 本人が名前を答えられない場合や、女性は旧姓を名乗ってしまうこともあると思うので、名前や住所などがわかる物を身につけさせるなど工夫をするとよいのでは。
- ・ 行方不明の方が地域から出てしまうと、搜索が困難になるので、情報をいかに早く流すかが重要だと思いました。

2

徘徊高齢者を早く見つけるとはいいけれど、どうしたらいいの？

参加者の声を聞いてみよう

訓練に参加したみなさんから、
次のような意見がでていたんだニャン。



★地域について

- ・認知症の問題を地域で共有でき、関心が深められたのではないかと思います。
- ・自治会や民生委員の方など、街づくりに前向きになっていただけたのではないのでしょうか。
- ・地域で暮らしていくためには、いろいろな方のサポートが必要になることを実感しました。
- ・家族の気持ちとして「ご迷惑をおかけした」というのはとても辛いものだと思いますが、そんな気持ちが少しでも軽くなるような地域づくりができればいいと思いました。

★地域について

- ・地域の方の理解を深めるためにも、より一層のコミュニケーションが必要だと感じました。
- ・認知症サポーター養成講座をコンビニの店員や郵便局、銀行の方、くるりんばすの運転手さんなどに受講してもらうなど、支援者を増やす工夫が必要ではないのでしょうか。
- ・自治会のあり方や、地域での助け合いについて改めて考えて行かなければと思いました。
- ・「認知症は恥ずかしいことではない」という地域を作っていくべき。

うちの
地域でも
やってみたいな



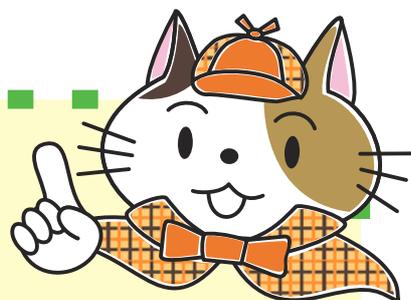
3

訓練をやると決めたら



ぜひうちの地域でも
やってみたいな
でもなんだか大変そうだが
まずは何をしたら
いいんだろう？

1 メンバーを 集めよう！



徘徊高齢者搜索模擬訓練をやってみよう！と
決めたら、まずは訓練の主催者として一緒に活動
してくれる仲間を集めることから始めるんだニヤ。

自治会・婦人会・老人会・子ども会・PTAなど
もともとの地域の集まりの役員さんに声をかけ、
行事として行うのもひとつの方法だニヤン。

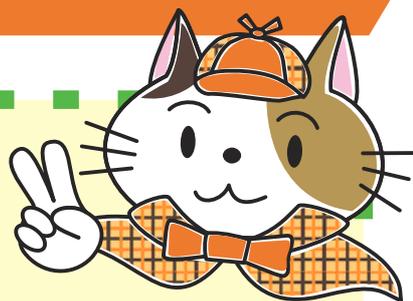
気の合う仲間同士でやってみるのもOK!

訓練当日までに、やらなければならないことが
いろいろあるので、5人ぐらいは集めてほしいニヤ。

3

訓練をやると決めたらどうするの？

どうするの？



② 相談しよう

一緒に徘徊高齢者検索模擬訓練を主催するメンバーが集まったら、お住まいの地域の**地域包括支援センター**に相談に行ってみよう。

担当者が、検索模擬訓練の具体的な手順や方法について説明してくれて、いろいろな相談にのってくれるんだニャン。

〇〇 地域包括支援センター



*お住まいの地域の地域包括支援センターについては、28ページをご覧ください。

★アドバイス★

事前に主催メンバーで 認知症サポーター養成講座を受けておこう

徘徊高齢者検索模擬訓練当日までのスケジュールとして、参加者の方に呼びかけて**認知症サポーター養成講座**を受講してもらいますが、**24ページ参照** 主催メンバーは事前に講座を受講しておくことをお勧めします。

認知症についてや、**認知症やさしい手ネット**にっしんについての理解が深まり、訓練までの運営に役立ちます。養成講座はおおよそ5人から受講が可能です。

お申込みは市役所**地域**福祉課まで。(☎0561-73-1484)



③ おおまかなスケジュールを立てよう!

訓練当日までには、事前に準備しなければいけないことがいろいろあるんだニャ。そこで、それらを時系列にならべて、おおまかなスケジュールを立ててみるんだニャン。

スケジュールの一例

およそ4ヶ月前	★訓練の日と役割を決める	19 ページ
	★地域に協力の呼びかけをする	21 ページ
およそ3ヶ月前	★徘徊ルートを決める	23 ページ
およそ3ヶ月前	★認知症サポーター養成講座の手配をする	24 ページ
およそ2ヶ月前	★訓練のお知らせを作成する	25 ページ
およそ2ヶ月前	★訓練のお知らせを配布または回覧する	25 ページ
およそ1ヶ月前	★訓練当日のスケジュールを決める	25 ページ
およそ1ヶ月前	★当日配布資料を作成する。	27 ページ
およそ半月前	★認知症サポーター養成講座を受ける	24 ページ

★徘徊高齢者搜索模擬訓練当日

スケジュール表

17ページのスケジュールの一例を参考に、実際におおまかなスケジュールを立ててみよう。

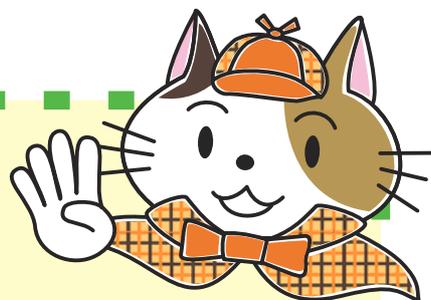
*17ページのスケジュールは一例です。それぞれの状況に合わせて、内容や日程は自由に決めていただけます。

★完了したらチェック欄に○を入れよう

月 日	内 容	チェック
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日	徘徊高齢者搜索模擬訓練当日	

3

訓練をやると決めたらどうするの？



4 役割を決めよう

徘徊高齢者捜索訓練を行う日を決めたら、当日までの事前準備の役割や、訓練当日の役割の担当者を決めるんだニャン。

役割の一例

● 地域への呼びかけ担当

訓練に協力していただけそうな地域のお店などに、協力をお願いします。←21ページ参照

● 認知症サポーター養成講座の手配担当

事前に行う「認知症サポーター養成講座」を高齢福祉課に依頼します。←24ページ参照

● お知らせのプリント作成・配布担当

地域の皆さんに訓練の開催をお知らせするためのプリントを作成し、配布します。←25ページ参照

● 当日配布プリント作成担当

訓練当日に配布するプリントを作成します。←27ページ参照

● 訓練当日の受付担当

訓練当日の参加者受付を行います。

● 訓練当日の司会進行担当

訓練当日の司会進行を務めます。

● 訓練当日の徘徊者役担当

徘徊者役として、決められたルートを歩きます。

● 訓練当日の記録&追尾担当

訓練当日の写真撮影や、徘徊者を追尾し、周囲の安全などを確認します。

● 意見交換会の準備担当

訓練終了後の意見交換会のお茶等を準備します。



徘徊者役は、訓練参加者の方の声かけに対し、認知症のある方らしいリアルな対応が必要なんだニャン。

だから認知症の特性などをよく理解している方が適任だニャン！ ふさわしい方がいない場合は、地域包括支援センターに相談してほしいニャン。

担当者表

19ページの役割の一例を参考に、訓練までの準備や訓練当日の役割と担当者を決めよう。

* 19ページの役割は一例です。それぞれの状況に合わせて、役割や内容は自由に決めていただけます。

役 割	担 当 者
● 地域への呼びかけ	
● 認知症サポーター養成講座の手配	
● お知らせのプリント作成・配布	
● 当日配布プリント作成	
● 訓練当日の受付	
● 訓練当日の司会進行	
● 訓練当日の徘徊者役	
● 訓練当日の記録&追尾	
● 意見交換会の準備	



⑤ 地域に協力を呼びかけよう

地域のお店などに呼びかけて、訓練に協力していただけるようお願いするんだニャン。訓練への参加や、徘徊者役が一時的に休憩する場所の提供など、それぞれができる範囲で協力していただければいいんだニャ。

認知症のある方を地域全体で支えていくことの大切さをみなさんに認識してもらい、地域の支援体制づくりにつながるとうれしいニャン。

呼びかけをするお店などの地域資源の一例

- 地域の個人商店
- スーパーマーケット
- コンビニエンスストア
- ファミリーレストランなどの飲食店
- 薬局・ドラッグストア
- 医院・歯科医院
- 郵便局・銀行・信用金庫・JA
- 駅などの公共交通機関
- 新聞販売店
- 介護サービス事業所 など

その他、地域の民生委員・児童委員・消防団・青色パトロール隊・自治会・老人会・婦人会・子ども会・PTA などにも協力のお願いをしてみるのもいいんだニャン。

地域の協力者

21 ページの地域資源の一例を参考に、訓練当日に協力していただけそうな地域のお店などを書き出してみよう。

* 21 ページの地域資源は一例です。それぞれの地域によって地域資源は異なります。

地域資源の名称	協力の有無	協力内容

3

訓練をやりと決めたらどうするの？



⑥ 訓練当日の 徘徊ルートを決めよう

協力して下さる地域のお店などが決まったら、それらの場所に合わせて、訓練当日の徘徊ルートを決めるんだニャン。

徘徊ルート図

ルートが決まったら、
簡単に地図を描いてみよう。



ゆっくり歩いて、30分ぐらいで
回れるぐらいのルートがいいと思うニャン。
およそ1kmぐらいにするといいんじゃないかニャン。
交通量の少ない道を選ぶなど、安全面も
考えてルートを決めてほしいニャン!



3

訓練をやると決めたらどうするの？



7 認知症サポーター養成講座を受講しよう

主催メンバーだけではなく、地域みなさんにも認知症サポーター養成講座を受けていただきたいのだニャ。サポーターとなり、認知症やさしい手ネットにつしんに登録することで、訓練当日には検索の情報配信を受けることができるんだニャ。また、認知症サポーターが増えることで、認知症の方やその家族が安心して暮らせる街づくりにつながるんだニャン。

認知症サポーター養成講座

日進市では、認知症について理解し、認知症のある方やそのご家族を温かく見守り支援する人（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせる街づくりを目的とした「認知症サポーター養成講座」に講師を派遣しています。およそ5名以上で開催できます。区や自治会、職場、各種グループなどで講座を開催しませんか？

- 講座内容 **認知症についての理解**
(認知症の症状や認知症のある方との接し方等)
サポーターとしてできること等
- 講座時間 **1時間から1時間半程度**
- 参加人数 **およそ5名以上**
- 受講料 **無料**
- 会場 **開催者で用意**
- 申込み **地域福祉課 ☎ 0561-73-1484**



受講された方には、認知症サポーターの証「オレンジリング」をお渡しします。

* 訓練のお知らせのプリントで、参加者を募集しましょう

25ページ参照

3

訓練をやると決めたらどうするの？



⑧ 地域に訓練開催のお知らせをしよう

地域の皆さんに、訓練を行うことをプリント等でお知らせするんだニヤ。

お知らせする内容の一例

- 訓練開催日時
- 開催場所
- 訓練開催の目的
- 認知症サポーター養成講座の参加者募集



プリントの掲載内容や、作成方法については、地域包括支援センターが相談のしてくれるから安心だニヤン。
ひな型をダウンロードできるホームページがあるよ。

27 ページ
34 ページ 参照

⑨ 訓練当日のスケジュールを決めよう

当日のスケジュールを具体的に決めるんだニヤン。

当日のスケジュールの一例

- 13:00 参加者集合・受付
- 13:10 はじめのあいさつ
- 13:15 訓練当日のスケジュール説明
- 13:20 「認知症やさしい手ネットにつしん」の説明
- 13:40 声かけのポイントや訓練時の注意事項
- 13:50 訓練開始
- 14:40 訓練終了
- 14:45 意見交換会
- 15:25 おわりのあいさつ
- 15:30 終了・解散

参加者による声かけ

31 ページ参照



当日のスケジュール表

25 ページの当日のスケジュールの一例を参考に、実際に当日のスケジュールを立ててみよう。

* 25 ページのスケジュールは一例です。それぞれの状況に合わせて、内容や時間は自由に決めていただけます。

時 間	内 容	担当者・備考
：	集合・受付	
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：		
：	終了・解散	

3

訓練をやると決めたらどうするの？



10 当日配布資料を作成しよう

訓練当日に参加者に配る資料を作成するニャン。資料のプリントの掲載内容などは、地域包括支援センターが相談にのってくれるから安心ニャン。

当日の配布資料の一例

- 当日のスケジュール
- 訓練の趣旨・目的
- 「認知症やさしい手ネットにっしん」の資料
- 声かけのポイント
- 訓練の際の注意事項
- 徘徊ルート図
- アンケート



訓練が開始され、参加者が徘徊者役に実際に声をかける場面では、参加者が同じ場所に固まり、道いっばいになってしまうなど、車や歩行者の迷惑になることがないように、注意を呼びかけよう。参加者が多数の場合は、訓練開始前にグループ分けして声かけのエリアを決めておくなどしたらいいと思うニャン。

★アドバイス★

ひな型を利用しよう！

一からの資料作成は慣れていない方には大変です。そこで、「認知症徘徊高齢者検索模擬訓練」に必要な資料のひな型を用意しました。

それぞれの状況に合わせて、ひな型を変更していただければ資料を完成させることができます。ひな型は、「日進市認知症地域資源マップ」のホームページからダウンロードできます。←34ページ参照

日進市 地域資源マップ

検索

クリック!

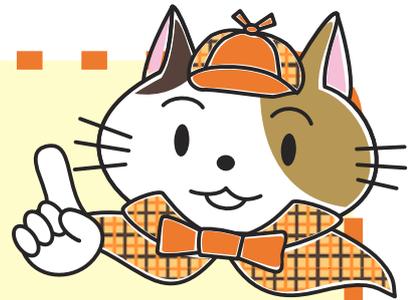
4

困ったときは？



準備や資料づくり
などに、行き詰ったり
悩んだりしたら、
どうしたらいいのかな

気 軽に相談しよう!



● 中部地域包括支援センター

日進市蟹甲町中島 22 (日進市中央福祉センター内)

■ TEL 0561-73-4890 ■ FAX 0561-73-4954

担当地区 蟹甲・折戸・栄1丁目・栄2丁目・本郷
岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山

● 東部地域包括支援センター

日進市米野木町南山 987-44 (老人保健施設 愛泉館内)

■ TEL 0561-74-1300 ■ FAX 0561-74-1303

担当地区 藤枝・米野木・三本木・藤島・北新
五色園・栄3丁目・栄4丁目・栄5丁目・

● 西部地域包括支援センター

日進市浅田平子 2-20 (特別養護老人ホーム 日進ホーム内)

■ TEL 052-806-2637 ■ FAX 052-806-2638

担当地区 赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森
梅森台・野方・香久山・岩崎台

● 市役所地域福祉課

■ TEL 0561-73-1484 ■ FAX 0561-72-4554

5

声かけがうまくできるか



訓練のときもだけど
実際に徘徊している方を見かけたときに
うまく声かけができるかなんとか心配だわ。

対応の心得を知ろう

徘徊している認知症のある方に
声をかける時には、気をつけて
ほしいことがあるんだニャン。



対応の心得 3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



ゆっくりと
やさしく、笑顔で
相手のペースに合わせて
接することが
大事なんだニャン

5

声かけがうまくできるか心配

具体的な対応のコツ

ついやってしまいがちな良くない対応から、より良い対応の仕方を見してみるんだニャン。



NG

- 走ったりなどして、急に近づく
- 急に腕をつかんだり数人で取り囲む
- 大声や怒るような口調、厳しい顔で声をかける
- 矢継早に質問する

厳しい顔、困った顔、腕組みや上から見下すような目線、態度は警戒心を持たれ、逃げてしまうこともあるんだニャン

OK



- ゆっくり近づいて相手の視野に入る
- なるべくひとりで声をかけ、一定の距離を保つ
- ゆっくり穏やかな口調で、笑顔で話しかける
- まずはあいさつをし、優しくわかりやすい言葉で話しかけ、答えをゆっくり待つ

「こんにちは、暑いですね」
「私は近くの〇〇です」などと
まずは優しく話しかけ、一緒に

ゆっくり歩きながら、「少し休んでいきませんか」など座るように促すのもいいんだニャン。うまくいかニヤイ場合は、慌てず一旦その場を離れて、間を置いてみてほしいニャン。ご本人の情報がわかる場合は、旧姓で呼びかける、なじみの場所の話をする、方言で話しかけるなどと警戒されにくいんだニャン。



訓練のイメージができて
自分たちの地域でも
なんとかできそうな
気がしてきたぞ
でも、訓練が終わったら
どうしたらいいんだ？

意見交換会をしよう

認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練が無事終わったら、参加された方の感想などを聞くために、意見交換会を開催してほしいんだニャン。

気軽に意見を出してもらえるよう、お茶やお菓子とともに交流会を兼ねたり、いも煮会などちょっとしたイベントとして行えば、地域のネットワークもさらに広がるんだニャン。

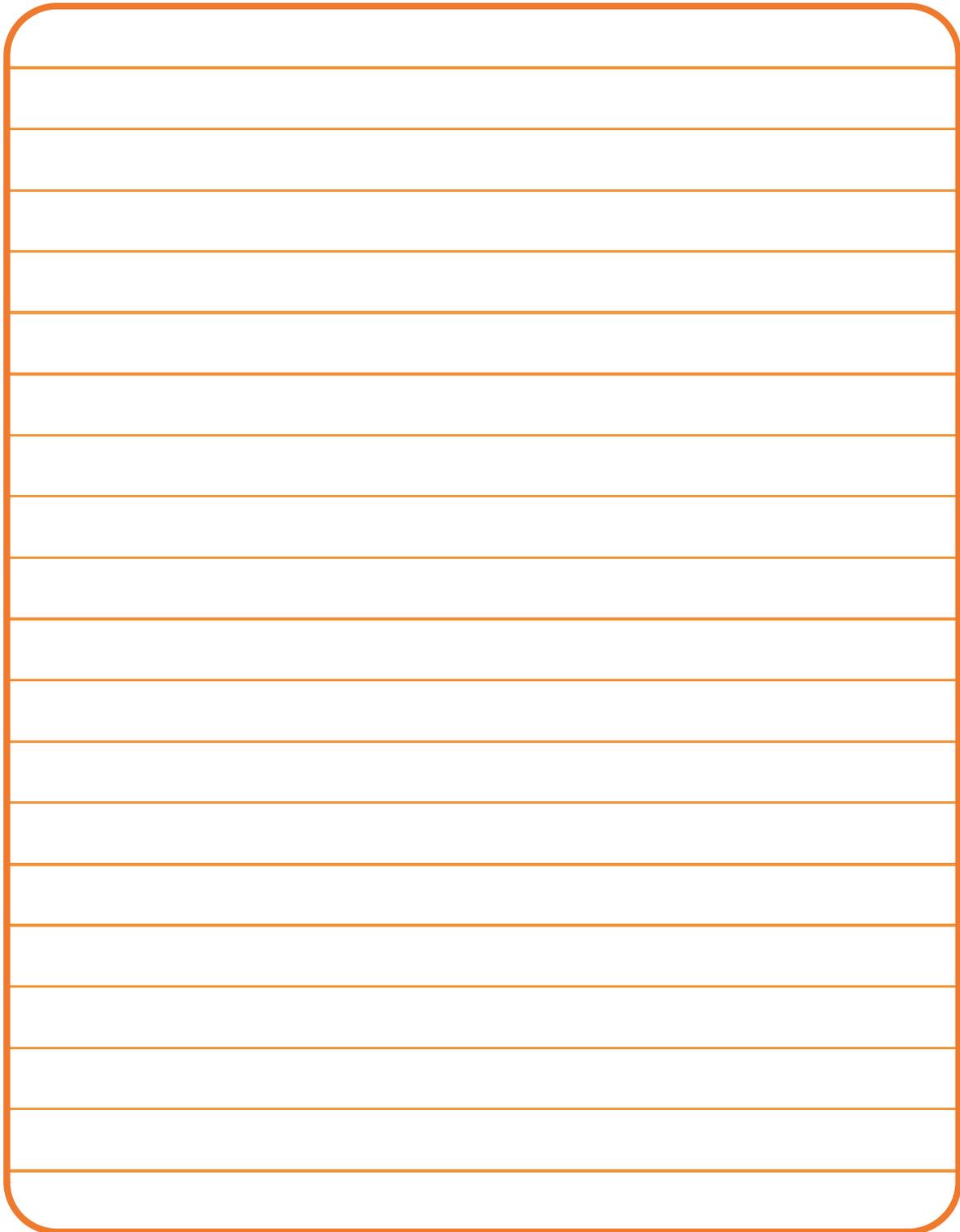
また、みなさんからのご意見は、次の訓練に是非活かしてほしいんだニャン。訓練は一回きりで終わるのではなく、防災訓練のように定期的に行い、地域の見守り体制を強化してほしいんだニャン。



たらしいの？

みなさんのご意見

意見交換会での意見を書き留めておこう。



6 訓練が終わったらどうしたらいいの？

7

その他の取り組みは？



「認知症徘徊高齢者
検索模擬訓練」や
「認知症やさしい手につしん」
の他に、認知症のある方の
ためのサポートは
ないかしら？

認知症地域資源マップ

認知症のある方や、そのご家族の暮らしに役立つ日進市内の地域資源や、サービスなどに関する情報についてまとめたホームページなんだニャン。

相談機関や介護サービス事業所、病院などの市内の地域資源を簡単に探せる地図の他に、認知症の正しい理解の促進や研修会等のお知らせなど、様々な情報を随時更新して掲載しているんだニャン。

「徘徊高齢者検索模擬訓練」に必要な資料のひな型もここからダウンロードできるニャン。

日進市認知症地域資源マップ ホームページ
<http://www.city.nisshin.aichi.jp/~kourei/map/>

日進市 地域資源マップ

検索

クリック!

http://www.city.nissin.aichi.jp/~kourei/map/ 認知症地域資源マップ | ...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

日進市 認知症地域資源マップ

文字の大きさ 大 中 小

ホーム | 認知症の理解 | 日常生活を支援するために | 関係施設を地図で探す | お知らせ・新着情報

? 認知症の理解

認知症って何？

- ▶ [認知症の基礎知識](#)
- ▶ [どう接したらいいの？](#)
- ▶ [認知症に関する取り組み](#)

あれっ？と思ったら

- ▶ [まずは相談してください！](#)
- ▶ [介護されているご家族の方](#)

地域のみなさまへ

- ▶ [ぜひ、ご協力ください！](#)

認知症地域資源マップとは、認知症の方やそのご家族の暮らしに役立つ、日進市内の施設やサービスなどに関する情報についてまとめたものです。

認知症の方の充実した生活のために、ぜひご利用ください。



日常生活を支援するために

- ▶ [高齢福祉サービス](#)
- ▶ [介護予防事業](#)

地図で探す

関係施設を地図で探す

- ▶ [相談機関\(地域包括支援センター\)](#)
- ▶ [ものわすれ相談窓口\(日進市薬剤師会加盟の薬局\)](#)
- ▶ [病院・医院](#)
- ▶ [歯科医院](#)
- ▶ [介護サービス事業所](#)
- ▶ [協力店・事業所](#)

相談機関 	ものわすれ相談窓口 
病院・医院 	歯科医院 
介護サービス事業所 	協力店・事業所 

お知らせ・新着情報

- ▶ [イベント、講座開催のご案内](#)
- ▶ [認知症に関する情報](#)
- ▶ [ダウンロードページ](#)

お知らせ・新着情報





この「ダウンロードページ」をクリックすると、訓練開催のお知らせや、当日に配布する資料のひな型がダウンロードできるページに移動するニャン。WORD (ワード) 形式のファイルは、それぞれの状況に合わせて内容を変更できるから、資料づくりの強い味方なんだニャン。

7 その他の取り組みは？

ものわすれ相談窓口

もの忘れに不安のある方や、そのご家族が、身近な場所で気軽に相談できるよう、市内の薬局において、薬剤師による「ものわすれ相談」の窓口が設けられているんだニャン。

地域包括支援センターなど、支援に必要な機関とも連携しているから安心なんだニャン。

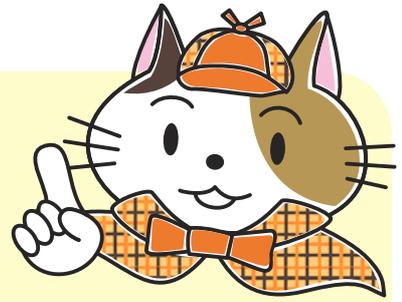
実施している薬局は、「ものわすれ相談」の卓上のぼりやポスターが目印になっているんだニャン。

「日進市認知症地域資源マップ」のホームページにも掲載されているんだニャン。 34ページ参照



その他の取り組みは？

認知症地域支援 シンボルマーク



このシンボルマークの作成は、市民の方々に認知症の理解を深めてもらうことを目的としているんだニャン。

デザインは、市が協定を結んでいる名古屋学芸大学デザイン学科の学生に製作を依頼し、優秀な9作品の中から選ばれたんだニャ。このシンボルマークは、認知症のある方と差し伸べられるやさしい手がハートの形を表し、その2つの間に日進市の頭文字の「N」の文字が入っているニャ。

認知症を啓発するためのチラシやステッカーシールなどに活用しているんだニャン。



高齢者地域見守りに関する協定

日進市では、配達先の一人暮らし高齢者や高齢者のみのお宅で、郵便物がたまっていたり、何日も洗濯物が取り込まれていないなどの異変に気がついたら、郵便局や新聞販売店の方が市に連絡し、安否を確かめる「協定」が結ばれているそうだニャン。



認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練を
地域で実施することで
地域のみなさんのネットワークが
どんどん広がっていき
誰もが安心して暮らせる
やさしい街づくりに
つながるんだな



認知症についてよくわかったわ
認知症のある方の気持ちを考え
自然に接することが大切なのね
地域での見守り体制があれば
家族も安心だわ

地域で見守り支えたい

認知症徘徊高齢者捜索模擬訓練実施マニュアル

発行者：日進市

企画編集者：NPO法人じゃんぐるじむ

発行日：平成24年3月

まずは認知症を知ることから
始めてほしいんだニャン
そして、模擬訓練を続けて行い
認知症のある方を
地域で見守り
支えてほしいニャン



地域で見守り支えたい

認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練実施マニュアル

発行者：日進市

企画編集者：NPO法人じやんぷらじむ

発行日：平成24年3月

